

1 教育目標

(1) 本校の学校教育目標 校訓 「つよく 正しく なかよく」

心身ともに健やかで人間性豊かな児童の育成

めざす学校像

安心と学ぶ楽しさのつまった 笑顔あふれる学校

めざす児童像

つよく…命を大切にし、進んで心身を鍛え、たくましく生きる子
正しく…自分で考え、行動し、学び続ける子
なかよく…互いを認め合い、思いやりと感謝の心をもつ子

めざす教師像

児童を一人の人間として尊重し、児童に寄り添い、向き合う教師
「児童が主役」の授業づくりに取り組み、児童とともに学び続ける教師

(2) 経営方針

ア 心づくり 児童の心理的安全性を育み、児童の自治力を育てる

- (ア) 児童の声や思いを聴いて「児童理解」から始める児童支援（ケース会議の定着）
- (イ) いじめ・不登校・暴力行為等の未然防止、早期発見・早期対応、解消
- (ウ) 特別支援学級との交流・共同学習、異学年交流の充実
- (エ) いのちや人権、思いやりの心を育む道德教育、地域社会との交流（地域学校協働活動）
- (オ) 一人一人が目標をもち、達成感を味わえる学校行事
- (カ) 自治力育成につなげる特別活動や委員会活動の充実（ユネスコスクール）
- (キ) 防災・防犯「自分の命は自分で守る」力を育む安全教育の充実（学校運営協議会）

イ 授業づくり 児童が主体的に「やってみたい」と思う「学ぶ楽しさ」を実感できる授業づくり

- (ア) 「児童が主役」の授業をつくるための授業研究の充実
- (イ) 個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指す授業づくり
- (ウ) 一人一人の学びの歩みに寄り添う授業づくりや学習を支援する場づくり
- (エ) 教科担任制、交換授業等による専門的な指導や指導力の向上

(3) 本年度の重点努力目標 合言葉

「チームにしがお」

① っこり笑顔で

② ろう 子どものことを

③ がんばる子どもの一番近くで

④ なじ目線で 声を聴く



1 児童支援体制の充実

- ・ 児童支援の土台となる「心理的安全性」を育むために、児童に寄り添い、思いを受け入れながら聴く姿勢の徹底
- ・ 個人のニーズや困り感を把握し、教職員間の情報共有やケース会議を積極的に活用して素早く対応するチーム力の強化（SSW、SC、心の相談員、政機関等の関係機関との連携）
- ・ 児童が「自分で考え、自分で決め、自分で行動する」力を伸ばせる場を学級活動や学校行事、委員会活動等に設ける工夫
- ・ コミュニティースクールの導入による児童支援体制の強化

2 「授業で勝負」できる教職員の授業力向上

- ・ 児童の「やってみたい」「できた」を引き出せる授業づくり
- ・ 「学ぶ楽しさ」を児童に実感させるための授業づくりを楽しめる教職員チームの育成
- ・ 地域コーディネーターと連携し、地域学校協働活動で地域人材を生かした授業づくり

3 教職員が働きやすい職場環境の整備

- ・ 教職員が安心して力を発揮できる、笑顔あふれる職場づくりに努める
- ・ 「教師でなければならない業務」に専念できるよう、業務の見直しや在校時間の適正化に努める